

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス MEGUの家		公表日		令和8年 3月 9日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・活動内容に応じて部屋を使い分けたりと工夫して取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・基準を満たした配置をしています。職員同士の声掛け・対応は密に行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・バリアフリーは構造上難しいですが、危険個所にクッションなどでガードし、安全に活動できるようにしています。	・危険個所や気になるところは職員間で共有し、より安全に活動ができるよう配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日、清掃・消毒を行い清潔な環境作りを心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・利用時のその日の様子に応じて部屋を使い分けることができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・朝礼ノート、日々の活動録を利用し、必要に応じて話し合い支援に活かしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・職員会議にて結果を共有し、ご意見を踏まえて業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・職員会議等で意見を出し合い、その都度業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・保護者様からの評価・ご意見により業務改善につなげることができるよう取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・年間計画で研修の機会を設けています。外部研修への参加がなかなか難しいため、オンデマンド研修は有難いです。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			・すべての職員にわかりやすく情報を共有していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・保護者のニーズや利用時の困り事を把握し個別支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・日々の支援から見えてくる課題を職員間で共有し、計画に反映させています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			・すべての職員にわかりやすく情報を共有していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・療育日誌にその日の様子などを記入し職員間で把握、共有ができるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・5領域に沿って作成しています。保護者様はもちろん職員間の共有も図れるよう具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・職員会議にて日々の様子を話し合い、月の目標設定を行い活動に取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・季節の行事などをとりいれ、固定化しないよう取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・臨機応変に対応しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・活動前に必ず配慮すべき点等を確認した上で取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・その日の活動を記録し、必要に応じてその日のうちに情報を共有します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日々活動を記録し、次の活動の改善につなげることができるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・定期的なモニタリングの他にも、送迎時、必要に応じた面談を設けることにより適切に見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		・組み合わせ合わせて支援を行うようにしています	・地域交流の機会を増やしていけるようにすることが課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・場面設定やSST等を通して自己選択・決定をする力を育てるための支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・必要に応じて関係機関との会議に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			・医療については、もう少し連携をとっていく必要があると考えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2		・密に連絡調整を行うことが難しい為、必要に応じて情報共有を行って行きたいと思えます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		・双方で日時調整が可能であれば情報共有に努めていきたいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	・必要に応じて関係機関との会議に参画しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		・今後の課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		・保護者様のご希望に応じて検討していきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・可能な限りで参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・必要に応じて関係機関との会議に参画しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		・ご家族様への支援プログラムや研修機会の情報提供については今後の課題です。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・利用日に行い、ご家族についても確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・支援内容を説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・電話や送迎時、必要に応じて面談時に適切に行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4		・年に一度保護者会を開催して、保護者様間の交流の場を設けております。	・きょうだい同士での交流の機会については今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・迅速に丁寧に対応しています。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・定期的にメグだよりにて活動の様子を報告しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・十分配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・視覚化するなどして配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		・保護者の方の要望に応じて検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・視覚化するなどして配慮しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・計画に沿って訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・契約時に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4		・保護者様からの情報をもとに対応を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			・ご家族様への周知が不十分である為、周知方法についても検討していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		・安全計画は策定していますが、保護者様への周知が完全ではないため、検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・毎月職員会議にて共有し、事例検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・年間計画を立て、研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・契約時に保護者様へ説明をさせていただいています。	